

## 「北陸電力グループCSR報告書2009」の発行について

平成21年6月30日  
北陸電力株式会社

当社は、本日、北陸電力グループのCSR（Corporate Social Responsibility:企業の社会的責任）に関する取組みを取りまとめた「北陸電力グループCSR報告書2009」を発行しました。

今回の報告書では、巻頭特集として「志賀原子力発電所の安全・安定運転に向けた取組み」と「低炭素社会実現に向けた取組み」を取り上げております。

「志賀原子力発電所の安全・安定運転に向けた取組み」では、志賀原子力発電所2基体制のもとでの安全・安定運転や、再発防止対策の着実な実施、志賀原子力発電所の耐震安全性の確保についてご紹介しております。

また、「低炭素社会実現に向けた取組み」では、原子力発電を中核に、メガソーラー発電所の開発など再生可能エネルギーの導入拡大や、エコキュート・ヒートポンプ機器の推奨によるお客さまの省エネルギー・省CO2支援についてご紹介しております。

このほか、電力の安定供給に向けた取組みや、電気バスの研究開発・電気自動車の導入などを記載するとともに、グループ会社の取組みについても幅広くご紹介しております。

本報告書を通じ、広く社会の皆さまに北陸電力グループのCSRに関する考え方や取組みをご理解いただくとともに、一層の双方向コミュニケーションの推進に努めてまいります。

なお、本報告書は当社ホームページ「CSRへの取組み」(<http://www.rikuden.co.jp/csr>)からダウンロードいただけます。

以 上

<添付資料> 「北陸電力グループCSR報告書2009」の概要版

## 特集1 志賀原子力発電所の安全・安定運転に向けた取組み

### 志賀原子力発電所2基体制のもと、今後も安全・安定運転に全力を注ぎます

2009年5月13日、志賀原子力発電所1号機が2年2ヶ月ぶりに営業運転を再開し、1・2号機が共に安全・安定運転を行なっております。

北陸電力グループでは、今後とも志賀原子力発電所の安全・安定運転を徹底するとともに、企業風土改革に向けた取組みを継続し、地域の皆さまにご安心いただける発電所となるよう全力を尽くしてまいります。

### 志賀原子力発電所1・2号機の状況

#### ◆志賀1号機の安全確保

運転再開に向け、①臨界事故に係る安全対策の総点検および再発防止対策の確実な実施、②国の「特別な定期検査」の受検、③耐震安全性の確保などの取組みを実施し、安全確保を万全なものとした。



志賀原子力発電所

#### ◆志賀2号機の状況

2号機は2008年6月の営業運転再開以降、安全・安定運転を継続しています。また、耐震安全性については、2008年3月に国に提出した耐震安全性評価結果中間報告書について、2009年2月、原子力安全・保安院および原子力安全委員会より、妥当であるとの評価をいただきました。

### 再発防止対策の着実な実施

皆さまから信頼され選択される新しい北陸電力グループを創り上げるために、2008年度も再発防止対策に引き続き取組み、2009年3月には有識者で構成する「再発防止対策検証委員会」より、「隠さない風土と安全文化」の定着が着実に進んでいるとの評価をいただきました。

#### ◆2008年度の重点的取組み

- 隠さない風土づくり  
迅速かつ確実な対外通報・報告の徹底 など
- 安全文化の構築  
経営トップと従業員のフランクな対話活動 など
- 自律的・継続的な改革・改善活動の推進・支援  
職場単位で安全文化などをテーマとした集団討議を実施
- 社外とのコミュニケーションの充実  
広報誌や志賀町ケーブルテレビによる発電所情報の発信  
地域の皆さまとの双方向の対話活動の推進

#### ● 請負者との協働体制の推進

当社と請負者が協働して、工事着工前の事前検討会やパトロールを実施



社長と志賀原子力発電所員との対話

### 志賀原子力発電所の耐震安全性

#### ◆万全を期す「耐震裕度向上工事」の実施

原子力発電所は十分な耐震安全性を確保していますが、地域の皆さまに一層ご安心していただくため、1号機については1,681箇所、2号機については1,246箇所耐震裕度向上工事を実施しました。

今後も、「耐震安全フォローアップ委員会」のもと、最新の知見を取り入れつつ継続的に耐震安全性についてフォローアップを行なっていきます。

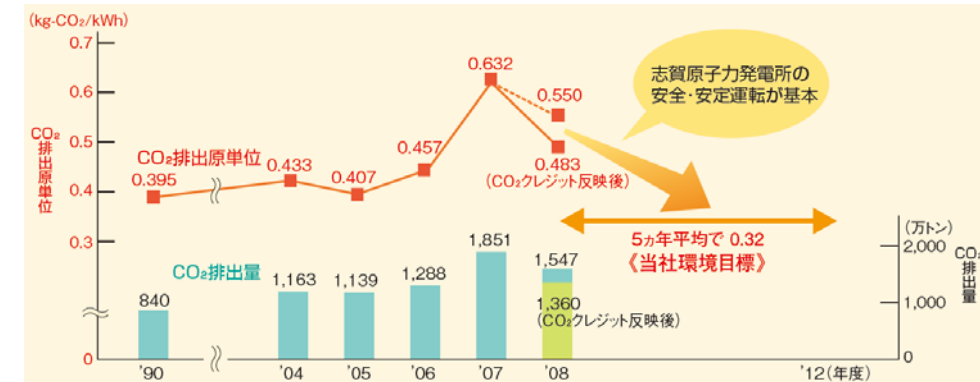


1号機主蒸気配管への防振器の追加

## 特集2 低炭素社会実現に向けた取組み

志賀原子力発電所の安全・安定運転を確実に進めるとともに、水力や太陽光など再生可能エネルギーの導入拡大を着実に進めてまいります。また、エコキュートや高効率ヒートポンプ空調の推奨など、お客さまの省エネ・省CO2ニーズにお応えする提案活動を展開してまいります。

### ● 当社の環境目標とCO2排出原単位・排出量の推移



### 再生可能エネルギーの導入

水力発電、太陽光発電、風力発電、木質バイオマス混焼発電などの再生可能エネルギーの導入を推進します。

#### ■ 水力発電

河川維持放流水(河川環境の維持を目的としたダムからの放流水)の活用を推進します。

#### ■ 風力発電

福浦風力発電所(21,600kW(2,400kW×9基))が2009年度から順次運転を開始します。

#### ■ 太陽光発電

自社メガソーラー発電所の開発を北陸地域の4カ所(1,000kW×4カ所)で進め、2011年度から順次運転を開始します。

#### ■ 木質バイオマス混焼発電

敦賀火力発電所2号機に続き、七尾大田火力発電所2号機でも混焼発電を導入します。

#### <メガソーラー発電計画>

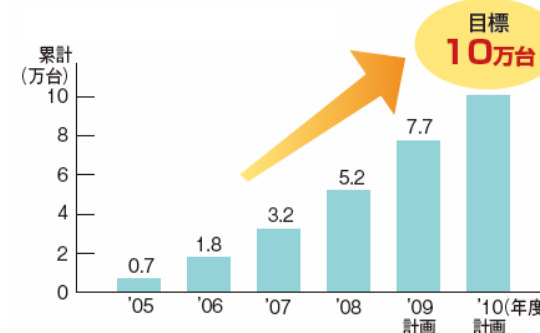


志賀メガソーラー発電所(仮称)イメージ図

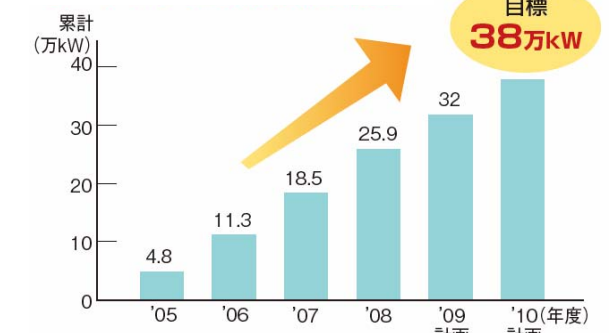
### お客さまの省エネ・省CO2支援

エコキュートや高効率ヒートポンプ空調の推奨など、お客さまの省エネ・省CO2ニーズにお応えします。

#### ■ エコキュートの普及拡大



#### ■ ヒートポンプ空調開発の推進



# 皆さまから信頼される企業を目指して

## お客さま満足の向上

### ● 電力の安定供給

お客さまに電気を安全・安定的にお届けすることが、北陸電力グループの最大の使命です。そのため、発電用の燃料調達や発電所の運転、電力系統(送電・変電・配電)の保守・運用など、さまざまな現場で、業務を確実に遂行する地道な取り組みを行なっています。

### ◆ 停電の少ない高品質な電気のお届け

発電所の中央制御室では、タービンや発電機などの主要な機器をはじめ、多くの機器を24時間体制で監視し、さらに1日に数回の巡視点検を行なうことで異常の早期発見に努めています。



火力発電所中央制御室



相間スペース

送電・変電部門では、電力系統ネットワークを効率的に運用するとともに、雪害対策用の相間スペースの設置など自然災害等に備えた設備強化を計画的に実施しています。

### ◆ 現場技術力の向上

それぞれの現場で、豊富な経験とすぐれた技術を併せ持つ「技術マスター」によるOJTや、研修設備を使用した実践さながらの研修・訓練などにより、現場技術力の向上に努めています。



配電工事安全技能大会

### <能登地区の記録的な大雪への対応>

2009年1月25日未明からの大雪により、高圧線の断線や電柱の折損などで、能登地区で延べ6,549戸が停電しました。

七尾支社では管内グループ従業員・協力会社を中心に、全社からの応援者を含め、総勢200人態勢で復旧作業にあたり、翌26日までにお客さま不在箇所9戸を除く全ての送電を完了しました。

日頃の自然災害に備えた訓練等の成果により、迅速な復旧作業ができました。



## 地域社会との共生

### ● 地域社会との共生に向けた活動

北陸電力グループは、地域に根ざした企業として、地域の各種イベント・祭礼への参加や、従業員会等による環境美化活動など、地域との共生に向けた活動に取り組んでいます。



地元祭礼への参加



海岸清掃活動

また、地域における芸術・文化事業やスポーツの振興支援にも積極的に取り組んでいます。



ほくでんふれあいコンサート

### ● 教育支援

エネルギーや地球環境問題について理解を深めていただくため、小中学校・高校に、従業員が講師として出向く「出前講座」を実施しています。

2008年度は計170回実施し、延べ7,203名に受講していただきました。



小学校での出前講座

### ● コミュニケーション活動

プレスリリースに加え、ミニコミ誌や志賀町ケーブルテレビなどを活用し、原子力発電所に関するさまざまな情報を積極的に公開しています。

また、広報担当者による地域の皆さまとの双方向コミュニケーション活動の充実にも努めています。



志賀町ケーブルテレビ

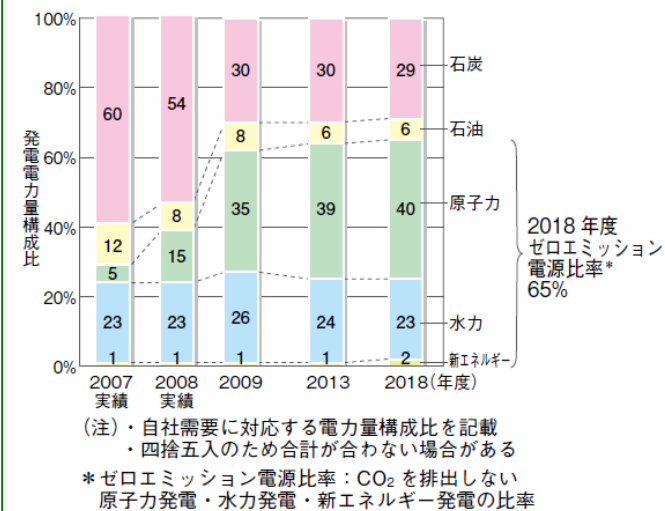
# 環境にやさしい社会の実現を目指して

## 低炭素社会の実現など重点的な取り組み

### ● 原子力発電の推進

志賀原子力発電所の安全・安定運転に努め、ゼロエミッション電源比率の向上に取り組めます。

### ◆ 発電電力量構成の見通し



### ● 電気バスの研究開発および電気自動車の導入

低炭素社会の実現に向けて、電気バスの研究開発や電気自動車の導入を行い、北陸地域における省CO<sub>2</sub>への貢献を目指しています。

### ◆ 新型電気コミュニティバスの開発

富山市と連携して、高齢者も利用しやすい低床型コミュニティ電気バスの開発と実際のバス路線での運行試験に取り組めます。北陸電力は事業全体の運営管理と技術支援を行ないます。



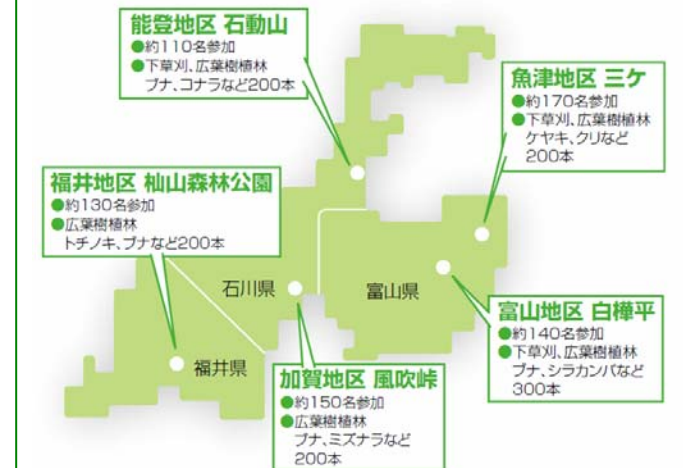
### ◆ 電気自動車の導入

2009年度には、北陸電力事業所に10台試験的に導入し、2010年度以降もメーカー開発動向等を踏まえ、北陸電力グループでの導入拡大に努めます。



### ● 森林保全活動の実施

2008年度より「水の恵みをありがとう!森に恩返し活動」と銘打った森林保全ボランティア活動をスタートさせました。



### ● 省エネ、省CO<sub>2</sub>のご提案やコンサルティング

環境に優しく、快適なオール電化住宅をお客さまにご提案しています。

工場やオフィスのお客さまには、CO<sub>2</sub>削減効果が高いヒートポンプ空調や給湯システムを中心に、お客さま設備全般にわたる省エネルギーコンサルティングを行なっています。

### ● 省エネ、省CO<sub>2</sub>情報のご提供

お客さまに電気の上手な使い方や省エネに対する理解を深めていただくため、ホームページなどでさまざまな省エネ情報を提供しています。

2009年4月には、「環境家計簿」をより使いやすくリニューアルしました。



「北陸電力グループCSR報告書2009」の詳細は  
ホームページ「CSRへの取り組み」(<http://www.rikuden.co.jp/csr/>)をご覧ください。